



十  
八  
年  
百  
七  
米  
國  
紙  
幣  
頭  
年  
報

上  
編  
第  
三  
号

大  
藏  
省  
翻  
譯  
課



414  
A1411  
3



國紙幣頭年報上編 第三号

鬼頭悳二郎譯

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

夫國立銀行條例ヲ創定シ以テ國立銀行ナル者ヲ開設セシハ  
 其目途トスル所固ヨリ数多アリト雖モ其内重モナルモノハ當  
 ニ安全ナル交換紙幣ヲ發行スル而已ナラス猶且ツ合衆國國債  
 証書ノ相場ヲ貴クシ併セテ以テ其証書ノ取引ヲ便ニヤシカ為  
 メナリ而ノ凡ソ國立銀行紙幣ヲ發行スルニハ當合衆國ノ國債  
 証書ヲ出納局ニ預ケテ以テ其抵當トナセシヨリ爰ニ我政府ノ  
 信憑大ニ增加シ隨ニ低利ヲ以テ金ヲ借ルノ力ヲ政府ニ加ヘ  
 シモノ實ニ鮮少ナラザルハ固ヨリ疑ヲ容レズ  
 千八百六十八年十一月一日現ニ諸國立銀行ニ於テ其發行紙幣  
 ノ抵當トシテ出納局ニ預ケ置キタル公債証書所有額ノ内殆ン  
 ト四分ノ三八六銖利付ノ証書ニ係レリ然ルニ此種類ノ証書兩



年月日	六銖利付 公債証書	五銖利付 公債証書	四銖半利付 公債証書	四銖利付 公債証書	合計
千八百六十五年十一月一日	弗202,523,350	弗78,619,950	-----	-----	弗281,143,300
千八百六十六年十一月一日	244,993,200	90,076,450	-----	-----	335,069,650
千八百六十七年十一月一日	251,274,800	91,376,450	-----	-----	342,651,250
千八百六十八年十一月一日	252,623,750	88,888,750	-----	-----	341,512,500
千八百六十九年十一月一日	249,724,650	92,131,300	-----	-----	342,455,950
千八百七十年十一月一日	247,460,950	97,784,600	-----	-----	344,745,550
千八百七十一年十一月一日	181,158,600	185,955,850	-----	-----	367,114,450
千八百七十二年十一月一日	173,303,100	211,665,800	-----	-----	384,968,900
千八百七十三年十一月一日	157,834,950	235,017,750	-----	-----	392,852,700
千八百七十四年十一月一日	145,481,650	239,440,100	-----	-----	385,421,750
千八百七十五年十一月一日	128,503,212	239,046,200	-----	-----	367,549,412
千八百七十六年十一月一日	103,819,300	223,602,700	弗10,305,800	-----	337,727,800
千八百七十七年十一月一日	81,984,550	202,090,500	45,081,700	弗15,884,150	343,048,900
千八百七十八年十一月一日	72,828,750	196,615,600	49,397,250	30,566,300	349,408,900

六銖利付公債証書  
 五銖利付公債証書  
 四銖半利付公債証書  
 四銖利付公債証書  
 合計

今尚ホ政府ノ國債未償ノ分六銖利付ノ公債証書ニテ六億九千  
 三百萬ドルラレ尙餘五銖利付ノ証書ニテ七億三百万以上アリ  
 トス然レハ右ニ口ノ公債証書ノ利子ヲ減シテ更ニ四銖ト為サ  
 ハ政府ニ取リ毎年殆ント貳億百万ドルラレツ、ノ利子ヲ省減  
 スルニ至ルベキナリ  
 四銖利付ノ証書ヲ發行シテ六銖利付ノ証書ヲ償却スルノコトハ  
 容藏中大ニ進歩セリ是レ畢竟諸銀行ニ於テ右新發ノ四銖利付  
 ヲ非常ニ買入レテ以テ此ノ六銖利付ノ証書償却ノ事ニ付テ政  
 府ノ為メニ大ニ盡カヤシニ因ルモノ多キニ居ルトス  
 蓋シ現行ノ國立銀行條例ヲシテ他日ノ久シキニ保メシメハ公  
 債証書ノ利子亦依然減少スルニ至ルハ毫モ疑フベカラザルナ  
 リ然ルニ若シ此國立銀行條例ヲ俄然廢止スルノ舉アリ隨テ合  
 衆國大藏省紙幣ヲ増發スルノ事アラハ今日公債ノ利子ヲ減少

年 月	信 合	台 林 經 四	例 保 經
1915.11.30	38,114,300		
1916.1.1	38,000,000		
1916.2.1	38,000,000		
1916.3.1	38,114,300		
1916.4.1	38,114,300		
1916.5.1	38,114,300		
1916.6.1	38,114,300		
1916.7.1	38,114,300		
1916.8.1	38,114,300		
1916.9.1	38,114,300		
1916.10.1	38,114,300		
1916.11.1	38,114,300		
1916.12.1	38,114,300		
1917.1.1	38,114,300		
1917.2.1	38,114,300		
1917.3.1	38,114,300		
1917.4.1	38,114,300		
1917.5.1	38,114,300		
1917.6.1	38,114,300		
1917.7.1	38,114,300		
1917.8.1	38,114,300		
1917.9.1	38,114,300		
1917.10.1	38,114,300		
1917.11.1	38,114,300		
1917.12.1	38,114,300		

セント欲スルノ念ヲ絶テ断然其思想ヲ廢棄セズンハアルベカラス

凡ソ當合衆國ノ五銖利付並ニ六銖利付ノ金貨拂ノ公債証書中過半ハ我政府ノ都合ニ依リテ償却スベキモノトス而シテ其殘額ノ分ハ爾後二ヶ年(即チ千八百八十一年)以内ニ償却ニ至ルベキモノトス

既ニ前文ニ開陳セシ如ク更ニ四銖利付ノ証書ヲ發シテ以テ右等ノ諸公債証書ヲ償却スルニ至ラハ政府ニ取リ年々貳億百万ドルヲルツ、ノ利子ヲ省減シ得ルモノトス然ルニ若シ国立銀行條例ヲ廢シ不交換大藏省紙幣三億二千万ドルヲ發行セハ之ガ為メニ年々省減スル所ノ利子ハ唯僅ニ一億三百万ドルヲルニ過ギガルノミ

諸銀行ニ於テ其發行紙幣ノ抵當トシテ出納局ヘ預ケ置キタ

ル公債証書ノ利子ハ紙幣ニテ千七百六十八万九千三百七十二「ドル」ナルハ別ニ次表ニ証明スルガ如シ

若シ此千七百六十八万九千三百七十二「ドル」ノ中ヨリ尙割乃チ百七十六万八千九百三十七「ドル」(右ハ無テ銀行ヨ

リ其發行紙幣ノ抵當トシテ出納局ヘ預ケ置キタル公債証書ノ内銀行ニテ臺モ其レニ對スル分ノ紙幣ヲ出納局ヨリ受取ラザル部分ノ利子ナリ)ト既發紙幣ノ稅額三百十四万四千六百八十「ドル」ト此二口ヲ引去レハ殘額ハ則チ千貳百七十七万五千七百五十五「ドル」トナルナリ是レ所謂發行紙幣ノ抵當トシテ銀行ヨリ出納局ヘ預ケ置キタル公債証書ノ内

其九割ニ付諸銀行ニ於テ受取ル利子ノ純額ナリトス

仮令ヒ斯ノ如ク夫レ巨額ノ紙幣ヲ俄然大藏省ヨリ發行スルノコトアルトモ到底國債償却ノ事得テ為スベカラズ何トナレバ

苟モ然ルニ於テハ政府抵當ノ約爰ニ破レ其信憑地ニ落テテ永  
世挽回ノ期ナキニ至ラニモ量リ難ケレバナリ  
夫レ國債償却ノ事業タル本年ノ如キハ實ニ斯ク迄首尾能ク進  
歩セシモノニシテ尚ホ依然施行スルヲラハ前書公債ノ利子ヲ  
省減スル而已ナラス猶且ツ當合衆國ノ信憑ヲ厚フスルモノナ  
レハ依然之ヲ施行スルカ或ハ又國立銀行條例ヲ廢止スルモ減  
省スル所ノ利子小額ナルノミナラス猶且ツ當合衆國ノ名譽ト  
信憑トヲ傷フベキノ策ヲ企ツルカ其何レカ良策明法ナルベキ  
カハ智者ヲ俟テ而後ニ知ラザルナリ  
請フ看ヨ徒ニ皮相ノ見ヲ以テ想像說ヲ作シ有害物ト誤認シテ  
其有害物ヲ廢除セントセハ却テ寔ニ一層有害ノ甚シキモノヲ  
引起スノ危險アルニアラスヤ  
今我合衆國ノ重モナル銀行二千ヶ所ノ協力ニ依リテ我國債ヲ

償却セントナラハ其事ノ終ヲ完シ效ヲ奏スルハ固ヨリ方サニ  
論ヲ俟タス然リト雖モ巨額ノ不交換紙幣ヲ俄然政府ヨリ發行  
スルノ舉ハ其結果如何ナルベキヤ豫メトシ能ハザルナリ  
諸國立銀行ニ取リ其發行紙幣流通上ヨリ生スル利得ノ事  
諸國立銀行ニ於テ其發行紙幣流通上ヨリ生スル利得ハ決シテ  
巨額ノモノナラス右ハ再三開陳セシ如ク發行紙幣ノ抵當トシ  
テ出納局ヘ預ケ置キタル公債証書ノ買入レニ付元入レセシ資  
本金ニ對スレバ金額ノ資本ヲ直接ニ民間ヘ貸與シテ得ル所ノ  
モノヨリ多キヲ僅ニ二分半内外ニ過キスサレハ其利得ノ巨額  
ナラザル推シテ知ルベキナリ  
左ノ表ハ千八百七十八年十一月一日現ニ國立銀行紙幣抵當ト  
シテ出納局ヘ預リ置キタル公債証書ノ金額ト其種類ト其ノ通  
貨ニ對スル價格ト其公債証書ニ對シ銀行紙幣ヲ發行スベキ高





公債証書、種類	平 價	通貨=對比價格	公債証書=對比 銀行紙幣ヲ 發行スヘキ高	毎年、利子 (金貨ヲ以テ拂フ ヘキモノ)	毎年、利子 (紙幣ヲ以テ算 シタル高)
Sixes of 1881	弗 56,483,450	弗 61,072,730	弗 50,835,105	弗 3,389,007	弗 3,397,430
Five twenties of 1865 2 <sup>d</sup> series.	825,700	851,503	743,130	49,547	49,666
Five twenties of 1865 3 <sup>d</sup> series, 1867S.	8,172,100	8,672,641	7,354,890	490,326	491,552
Five twenties of 1865, 4 <sup>th</sup> series 1868S.	1,764,500	1,905,660	1,588,050	105,870	106,135
Ten forties of 1864	70,688,850	75,195,264	63,619,965	3,534,443	3,543,279
Fives of 1881, funded 1881S	125,926,750	132,223,088	113,334,075	6,296,337	6,312,078
Four tens & halves of 1891, funded 1891S.	49,397,250	51,314,993	44,457,525	2,222,876	2,228,433
Four of 1907, Consols of 1907.	30,566,300	30,566,300	27,509,670	1,222,652	1,225,709
Pacific Railroad bonds	5,584,000	6,735,700	5,025,600		335,040
合 計	349,408,900	368,534,279	314,468,010	17,311,053	17,689,372

公債証券 高クハニテ	公債証券 高クハニテ	公債証券 高クハニテ
3,388,000	3,388,000	3,388,000
1,521,130	1,521,130	1,521,130
7,384,820	7,384,820	7,384,820
1,288,020	1,288,020	1,288,020
8,234,443	8,234,443	8,234,443
6,315,078	6,315,078	6,315,078
2,222,846	2,222,846	2,222,846
1,222,622	1,222,622	1,222,622
332,040	332,040	332,040
17,689,325	17,689,325	17,689,325

前表ニ依レハ公債証券ノ通貨ニ對スル價格ハ總額三億六千八百五十三万四千二百七十九ドルナルハ一目シテ明ラカナリ是レ即チ銀行紙幣ノ抵當ニ供スルガ為メ公債証券ヲ買入レシ時元入レヤシ資本金ナリ若シ此ノ三億六千八百五十三万四千二百七十九ドルノ資本ニ付スルニ暫ク年八銖(右ハ全國ニ通シ平均ノ利子ヲ見積リテ算定ス)ノ利子ヲ附スルキハ其年利ハ總額二千九百四十八万二千七百四十二ドルナルナリ  
 諸國立銀行ヨリ出納局ハ預ケタル公債証券ノ年利ハ金貨拂ノ分一千七百三十一万五千〇五十三ドルナルニシテ紙幣拂ノ分三十三万五千〇四十四ドルナルナリサレハ千八百七十八年十一月一日ニ於ケル利子ノ總額ハ紙幣ナレハ一千七百六十八万九千三百七十二ドルナリ是レ實ニ毎年諸銀行ニ於テ受取ル利

子ノ總額ナリトス(但シ金貨ノ相場ハ千八百七十八年十一月一日ノ新約克株式取引所ノ相場ニ依リ二厘五毛ノ打歩ヲ以テ算セシ所ニ係ル)夫レ諸銀行ノ受取ル所ノ年利實ニ斯ノ如シト雖氏又諸銀行ニ於テハ毎年合衆國出納局ハ其發行紙幣ニ對シ壹銖ツ、ノ稅ヲ拂フベキモノトス即チ其稅額ハ發行額ニ對シ現ニ三百拾四万四千六百八拾「ドル」ナリサレバ右ノ公債利子ノ内ヨリ此三百十四万四千六百八拾「ドル」ノ稅ヲ引去レハ銀行ノ受取ルベキ利子ハ減シテ一千四百五十四万四千六百九十二「ドル」ラルトナルナリ

依テ發行紙幣ヲ貸與シテ受取ル所ノ利子ト右ノ一千四百五十四万四千六百九拾二「ドル」ラルトノ二者ヲ相合シテ以テ其發行紙幣流通上ヨリ生スル歲入ト紙幣抵當ノ為メニ出納局ハ預置キタル公債証書ヨリ生スル歲入トヲ銀行ニ付與スルモノトス

凡ソ銀行ニ於テ流通ニ供用スベキ紙幣ハ其抵當トシテ出納局ハ預置キタル公債証書ノ平價ニ對シ九割ヲ以テ發行額トスレ氏其内五分ヲ引去ルモノトス(是レ千八百七十四年六月二十日ノ條例ヲ以テ交換豫備金トシテ合衆國ノ出納局ハ預ケ置クベキ「ドル」銀行ニ要スルモノナリ)

然ルヲ以テ若シ銀行ニ於テ其流通ニ供用スベキ紙幣ヲ悉皆貸付ケントスルモ(實際行ハレザルニモセヨ)其公債証書ニ對シ發行シ得ベキ紙幣三億千四百四十六万八千〇十「ドル」ノ内僅ニ二億九千八百七十四万四千六百十「ドル」夫ケヲ貸與スルノ自由アルノミサレハ其額二億九千八百七十四万四千六百拾「ドル」ラテ年八銖ノ利子ニテ貸與スレハ其利子二千三百八十九万九千五百六十九「ドル」トナルナリ依テ此利子ト公債証書ヨリ受取ル純利ヲ合スレハ總額三千八百四十四万四千二百

六十一「ドル」トナルナリ是レ諸銀行ニ於テ其公債証書ト發行紙幣ノ流通上ヨリ得ル所ノ歳入ナリ然ルニ右公債証書買入ニ付元入レヤシ資本ヲ同利子ニテ直接ニ貸與スレハ二千九百四十八万二千七百四十二「ドル」ラレノ利ヲ得ルニ止マル而已以上三千八百四十四万四千二百六十一「ドル」ト二千九百四十八万二千七百四十二「ドル」ラレトノ差ハ即チ八百九十六万五千五百十九「ドル」ナリトス（公債証書買入レニ付元入レセシ資本ニ對シ二分四三ノ利子）是レ諸銀行ニ於テ其營業ノ最モ繁榮熾昌ナル時ニ其發行紙幣ノ流通上ヨリ受取ル利得ノ實額ナリ更ニ再説セハ即チ左ノ如シ  
 二千三百八十九万九千五百六十九「ドル」ラレ  
 是レ發行紙幣ノ内貸與シ得ベキ分即チ二億九千八百七十四万四千六百十「ドル」ラレヲ年八銖ノ利子ニテ貸與スレハ利子

右ノ如クナルナリ  
 千七百六十八万九千三百七十二「ドル」ラレ  
 右ハ發行紙幣ノ抵當トシテ出納局ニ預リタル利子ナリ  
 合計四千百五十八万八千九百四十一「ドル」ラレ  
 右ハ公債証書ノ利子ト貸與シ得ベキ發行紙幣ノ利子トテ銀行ニテ受取ル總額ナリ  
 右ノ内ヨリ銀行紙幣ノ税トシテ發行額ノ一分即チ三百十四万四千六百八十「ドル」ラレヲ引去レハ殘額左ノ如シ  
 三千八百四十四万四千二百六十一「ドル」ラレ  
 右ハ銀行ノ手ニ入ル正味ノ歳入額ナリ  
 然ルニ諸銀行ヨリ出納局ニ預ケシ公債証書買入レニ付テ要セシ資本即チ三億六千八百五十三万四千二百七十九「ドル」ラレヲ年八銖ノ利子ニテ貸與スレハ左ノ通りノ利子トナルナリ

二千九百四十八万二千七百四十二<sup>ドル</sup>ラル

依テ右ノ三千八百四十四万四千二百六十一<sup>ドル</sup>ラルノ内ヨ

リ二千九百四十八万二千七百四十二<sup>ドル</sup>ラルヲ引去レハ殘

額左ノ如シ

八百九十六万五千五百十九<sup>ドル</sup>ラル

右ノ差ハ若シ流通ニ供用スベキ紙幣ヲ悉皆年中絶ヘス貸與

スレハ發行紙幣ノ流通上ヨリ受取ル利得ナリ

諸銀行ヨリ出納局へ預ケシ公債証書買入レニ付テ要ヤシ資本

三億六千八百五十三万四千二百七十九<sup>ドル</sup>ラルノ二分四三八

即チ八百九十五万五千三百八十三<sup>ドル</sup>ラルナリ是レ前書ノ如

ク若シ諸銀行ニ於テ其發行紙幣ノ全額ヲ絶ヘス貸付ヲ置ク

ヲ得レハ其發行紙幣流通上ヨリ銀行ノ手ニ入ル利得ナリトス

尤モ右ノ算用ハ未ダ銀行紙幣交換ノ費用ヲ其内ヨリ引去ラザ

ルモノナリ然ルニ其交換費用ハ中々少小ノコトニアラザレハ之

ヲ引去ル所ハ之カ為メニ紙幣流通上ヨリ生スル利得ヲ大ニ減

少スルモノトス千八百七十八年六月三十日ヲ以テ終ル會計一

周年間ノ交換費ハ實ニ三十一万七千九百四十二<sup>ドル</sup>ラル四十

ハ<sup>セント</sup>トニシテ千八百七十七年六月三十日ヲ以テ終ル會計一

周年間ノ交換費ハ三十五万七千〇六十六<sup>ドル</sup>ラル十<sup>セント</sup>トナ

リ又々千八百七十六年六月三十日ヲ以テ終ル會計一周年間ノ

交換費ハ三十六万五千九十三<sup>ドル</sup>ラル三十一<sup>セント</sup>トニシテ

千八百七十五年六月三十日ヲ以テ終ル會計一周年間ノ交換費

ハ貳拾九万〇九百六十五<sup>ドル</sup>ラル三十七<sup>セント</sup>トナリキ

凡ソ諸地方ニ於テ年利七<sup>分</sup>ノ所ニハ發行紙幣流通ノ利得大約

年二分六ニニシテ年利七<sup>分</sup>割ノ所ニハ其利得大約年二分五ヲ以

テ常トス

諸銀行所有ノ公債証書總額ト其公債証書ニ對シ發行セル銀行紙幣ノ總額トノ間ノ差額實ニ五千四百〇六万二千二百六十九ドルヲアリ蓋シ此差額ハ他日不慮ノ災害ヲ醸生セシ非常ノ場合ニ當リ預ケ主輩其他ノ諸債主ニ拂渡金ノ準備トナルベシ是レ現行銀行條例中ノ制限ノ條款ヲ奉シテ銀行紙幣ヲ發行スルヲ可トスル所以ノ一ナリ

銀行紙幣ノ流通上ヨリ銀行ノ手ニ入ルベキ利得ヲ概算豫定スルニ付尚更ニ熟慮スベキハ銀行所有ノ公債証書常ニ若干ノ打歩ヲ占ムルニアリ夫レ此ノ打歩ノ如キハ是迄業已ニ太タ減少セシトハ雖モ今尚ホ銀行ノ資産中打歩ノ巨額ナルヲ見ルサレバ他日其公債証書拂入レノ期滿ヲテ合衆國政府ヨリ拂渡シアルノ日ヲ待テ初メテ打歩ヲ見サルニ至ルベシ

千八百七十八年十月一日諸銀行ヨリ其狀況ニ付テ報告書ヲ出セシ最後ノ日現ニ諸銀行ノ資産中ニ載録セル打歩ノ總額ハ七百拾三万四千七百三十六ドルナリ

若シ諸銀行ニテ其發行紙幣ノ抵當ニ充テシ公債証書ヲ悉ク四銖利付ノ公債ニ一變セハ紙幣流通上ノ利得ハ即チ左ノ如クナルベシ

二千三百八十九万九千五百六十九ドル

是レ發行紙幣二億九千八百七十四万四千六百拾ドル

年八銖ノ利子ニテ貸與スレハ利子右ノ如クナルナリ

千四百〇一万一千二百九十七ドル

右ハ發行紙幣ノ抵當トシテ出納局ニ預ケシ公債証書ノ利子ナリ

合計三千七百九十一万〇八百六十六ドル

右ノ内ヨリ銀行紙幣ノ稅三百十四万四千六百八十「ドル」ラ  
ヲ引去レハ殘額左ノ如シ

三千四百七十六万六千八百八十六「ドル」ラ

右ハ銀行ノ手ニ入ル正味ノ歲入額ナリ

然ルニ諸銀行ヨリ出納局へ預ケシ公債証書買入レニ付テ要セ  
シ資本即チ三億六千八百五十三万四千二百七十九「ドル」ラ  
年八銖ノ利子ニテ直接ニ貸與スレハ即チ左ノ通りノ利子トナ  
ルナリ

二千九百四十八万二千七百四十二「ドル」ラ

依テ右ノ三千四百七十六万六千八百八十六「ドル」ラノ内ヨリ

二千九百四十八万二千七百四十二「ドル」ラヲ引去レハ殘額

左ノ如シ

五百二十八万三千四百四十四「ドル」ラ

右ノ差ハ若シ流通ニ供用スベキ紙幣ヲ悉皆一年中絶ヘズ貸  
與スレバ發行紙幣上ヨリ生スル利得ナリサレハ公債証書買  
入レニ付テ要セシ資本ニ對シ一分四三トナルモノトス

今諸國立銀行ノ資本へ課スル諸州ノ稅ハ平均年二分内外ナリ  
依テ若シ諸國立銀行トモ閉店廢業ニ及ヒ其ノ所有ノ公債証書  
ヲ依然保持スルアラハ諸銀行ヨリ州稅ヲ拂ハサル高ハ目下諸  
銀行カ其紙幣流通上ヨリ占ムル所ノ利得ト殆ント全額ニ至ル  
ヘシ或ハ事ニ依リ全ク全額ニ至ルベキナリ

國立銀行紙幣ヲ廢シ大藏省紙幣ヲ代用スルモ政府ニ取リ  
毫モ費額ヲ省減ヤザルノ事

現ニ大藏省發行之合法紙幣未償ノ金額三億四千六百万「ドル」ラ  
ルニシテ國立銀行紙幣未償ノ高ハ三億二千二百万「ドル」ラナ  
リ依テ右ノ二口ヲ合シテ六億六千八百万「ドル」ラトナスサレ

ハ既ニ紙幣ノ総額斯ノ如ク夫レ巨額ナルニ猶ホ此上合法紙幣ヲ大藏省ヨリ増發スルノコトアラハ蓋シ國憲ニ違背セザルナキヲ保シ難シ

然ルカ故ニ仮令現今ノ國立銀行紙幣ヲ廢シテ更ニ大藏省紙幣ヲ代用スルニ至リシト雖モ其大藏省紙幣ナルモノハ諸負債ノ仕拂上ニ於テ合法貨幣トナシテ授受スルコトヲ得ヘキヤ否ヤハ疑ナキアマタハス然ルニ政府果シテ大藏省紙幣ヲ増發スルニ至ラハ二種ノ大藏省紙幣流通スル所トナリ其一種ハ充分ナル合法貨幣トナルベキニ他ノ一種ハ仮令ニ諸國立銀行ノ間ニ於テモ然ラザルベキハ恰モ諸國立銀行ヨリ發行セシ紙幣ノ現ニ然ルカ如クナルベシ

サレハ右ノ大藏省紙幣ハ二種トモニ商業繁榮百貨輻湊ノ地ニ於テ同様金貨ヲ以テ交換スベキモノト定ムルニ非ラザル以上

ハ合法貨幣トナリタル紙幣ハ他ノ一種ノ紙幣ヨリモ一層高價ニ流通スルナルベシ

諸國立銀行ニ於テハ其資産中受取手形ニテ八億三千万「ドル」ヲルノ多キヲ所持シ其他亦同様巨額ノ資産ヲ所有セリ而シテ其過半ハ何時モ容易ニ交換シテ以テ通貨トナスコトヲ得ルモノニ係ル

又諸國立銀行ノ預リ金并ニ銀行諸勘定差引殘金トモ二口ヲ合セテ現ニ六億万「ドル」有餘ノ巨額ニ及ヘリ而シテ其發行紙幣ハ銀行ノ資産ヲ用ヒテ以テ紙幣所有人ハ些少ノ費用ヲ掛ケル文ケニテ何時モ急速交換セラル、モノトス即チ其紙幣引換ノ用ニ供スル資産トハ他ナシ銀行ノ資本金積立金及ニ預リ金ノ類是ナリ

凡ソ諸銀行トモ其紙幣發行ノ額苟モ取引上ノ要需ニ必用ナル



分ヨリモ過ルヲアレハ容易ニ其過剩ノ紙幣ヲ流通上ヨリ引戻  
スヲ得ルモノトス然ルニ苟モ亦紙幣ノ増發ヲ欲スルハ  
銀行條例ノ成規ニ準シ其筋ニ請願シテ以テ容易ニ其増額ヤ  
ト欲スル紙幣ヲ得ベキモノトス

然ルヲ若シ全國ノ諸紙幣ヲ一切政府ヨリ發行スルコトニ至ラ  
ハ其發行額ハ國會ニ於テ之ヲ取定メザルベカラス隨テ亦國會  
ノ許可ヲ待タサレハ臺モ之ヲ増減スベカラザルモノトス  
亦大藏省紙幣ノ多寡ヲ以テ商業資本ノ如何ヲトスベカラス其  
故何トナレハ其紙幣ノ多寡ハ商賣ノ需求ノ増減ニモ全國ノ需  
求ノ多少ニモ依ラザルモノニシテ實ニ政黨ノ所見ト國會ノ處  
置如何ニ由テ定マルモノナレハナリ

政府ハ固ヨリ銀行ト異ナレハ人民ヨリ預リ金ヲモ引受ケヌ又  
金ヲモ貸付ケザルモノナリ故ニ政府ヨリ發行セシ紙幣ハ政府

歳入ノ内ヨリ其交換準備金ヲ備置カザルベカラス

サレハ若シ政府ニテ發行スル所ノ紙幣小額ニ止マレハ其準備  
金ノ高モ少ナク隨テ亦々交換ノ費用モ小額ニ止マルナルベシ  
然リト雖氏之ニ反シテ政府若シ全國ノ諸紙幣ヲ悉皆發行スル  
アラハ正金拂ノ期ニ達スルニ臨ニテハ英國銀行若クハ佛國銀  
行ノ準備金ト同額ノ準備ヲ政府ニ備置カザルベカラス但シ英  
國銀行ニ於テモ佛國銀行ニ於テモ何レモ其準備金ノ高ハ發行  
紙幣ノ三分ノ一ヨリ少カラザルモノトス

若シ政府ヨリ發行セル大藏省紙幣ノ惣額六億六千八百万ドル  
ラル是レ即チ既發紙幣ノ現額ナリノ多キニ達スルアラハ正金  
ニテ二億二千三百万ドルノ準備金ヲ常ニ政府ニ備置カス  
ンハマルベカラスサレハ此二億二千三百万ドルノ準備金  
ノ利子ヲ最モ低利ニ積リ四銖トナスモ八百九十二万ドル

トナルベシ

其外亦タ發行ノ費用モ之ヲ交換スルノ費用モ兩ツナカラ巨額ナラザルベカラスサレハ斯ノ如キ巨額ノ紙幣ヲ發行スルカ為メニ前後相生スル臨時費等ヲ込ムレハ政府ニ取リテノ費用ハ益シ年々千万ドルヲルヨリ少カラザルベシ

然レハ此千万ドルヲルノ費用ハ諸國立銀行ニ於テ年々其公債証書ニ付テ受取ル純利ヨリ少ナキコト二三百萬ドルヲルニ過キス然ルニ諸國立銀行ニテ其發行紙幣ノ流通上ヨリ受取ル利得ヨリモ遙ニ多キニ居ルモノトス

然ルニ若シ巨額ノ大藏省紙幣ヲ發行シ隨テ國會ノ開議アル毎ニ増發スルノ舉アラシメハ政府カ其紙幣ヲ償却スルノ力量如何ニ付テ議者亦疑ヲ起サン果シテ然ラハ亦其紙幣交換ノ用途ニ供スル準備ノ金額並ニ其割合モ増加スルヲ要スルナルベシ

夫レ斯ノ如クナレハ自ツカラ紙幣發行ニ付テノ費用モ亦一層増加スベキモノトス

若シ國立銀行紙幣ヲ廢シテ更ニ大藏省紙幣ヲ代用シ以テ正金拂ヲ復行スルトモ此一舉ニ依テ政府ノ為メニ費額ヲ節減スルハ唯僅ニ鮮少ニ過キザルノミ尤モ政府断然大藏省紙幣ヲ發行スルアラハ其紙幣ハ仮令不交換性質ノモノニモヤヨ前文ニ開陳セシ如ク二種トモ流通スルニ至ルナルベシ

右ノ如ク愈ニ二種ノ紙幣流通スルニ至レハ世人舊發ノ合法紙幣ノ方ヲ尚ヒ之ヲ受取ランコトヲ欲スルナルベシサレハ自カラ舊發ノ紙幣ト新發ノ紙幣トヲ別テ諸勘定ヲ別々ニナスニ及ハシ果シテ斯ノ如クナレハ諸取引上ニ為換相場ノ差ヲ再出セシマルニ至ラン然ルニ現行ノ銀行法制ニ依レハ為換相場ノ差ハ既ニ實際消失セシモノトス

凡、諸國立銀行ニ於テ所有セル合衆國公債証書ハ殆ント皆其發行條例ノ明文ニ遵ヒ元利トモ凡テ正金ヲ以テ拂渡スベキモノトスサレハ若シ不交換ノ大藏省紙幣ヲ新發スルハ此正金拂ヒノ公債証書ハ右ノ不交換紙幣ニ比スレハ高貴ノ打歩ヲ市場ニ占ムベキナリ

今ヨリ顧想スレハ僅々三ヶ年以前ニ過ギガレ氏千八百七十五年ニ於テハ既ニ合衆國公債証書ノ内五銖利付并ニ六銖利付ノ分ハ壹割五分ヨリ貳割マデノ打分ニ至レリ然ルニ當時大藏省紙幣ハ合法貨幣ト定リ居リ發行額ニモ制限アリシナリ然ルカ故ニ若シ國立銀行紙幣ヲ廢シ新ニ大藏省紙幣ヲ發行代用スルヲアラハ諸銀行ニ於テ所有セル合衆國公債証書ノ打歩猶ホ騰貴スベキハ勢ノ免レザル所ナリ而シテ其騰貴ノ高ハ五千万ドルラレ乃至六千万ドルラレヨリ少カラザルベシ或ハ恐

ラクハ此上ニ出テンモ亦知ルヘカラス然ルヲ若シ諸銀行ニ於テ所有セル公債証書ヲ此新發ノ大藏省紙幣ニテ買入ル、トアラハ先ツ以テ政府ニ於テハ右ノ打歩ノ損失ヲ引受ケザル可ラス  
依テ余惟フニ斯ノ如ク大藏省紙幣ヲ發行代用スルノ、トハ到底實際ニ行ハントスルモ得ベカラザルモノトス而シテ國立銀行條例ヲ廢止スルニ至ラハ其結果ハ大藏省紙幣ノ増發ニ出テスシテ却テ復々往々日施行ヤシ所ノモノト類似セル州立銀行法制ヲ再興スルニ至ルベキナリ  
大藏卿「チエース」氏ヨリ國會ニ上呈セシ千八百六十一年ノ報告書中ニ云ク蓋シ國立銀行法制ヲ創定スルアラハ現存ノ諸銀行ヲシテ其從前州立銀行條例ヲ奉シ發行セシ紙幣ヲ引戻シ更ニ國立銀行條例ニ遵ヒ紙幣ヲ發行代用セシムルカ故ニ平素紙幣

上ニ俄然一大變化ヲ生スルノ弊害ヲ除去シ得ベシト又云ク愈  
國立銀行法制ノ制定スルアラハ現存ノ諸銀行各々其條例ノ至  
善至美ナルヲ知り一變シテ國立銀行トナルベケレハ從前紙幣  
ノ種類區々不同ニシテ加之<sup>不</sup>安全ナリシモノ大ニ轉變シテ種類  
同一同種ニシテ且ツ安全ナル紙幣トナルハ迅速ニシテ殆ント  
知ラス識ラスノ間ニ成就スルナルベシト  
抑モ國立銀行條例ハ初メテ千八百六十三年第二月廿五日ヲ以  
テ一定ノ法令ト成リシモノタリト雖モ大藏卿ノ獎勵未タ以テ  
能ク現存ノ州立銀行ヲシテ大ニ國立銀行ニ轉變セシムルニ足  
ラザリシ

爾來千八百六十五年三月三日更ニ一令ヲ發シテ以テ凡ソ各國  
立銀行各州立銀行トモ千八百六十六年第七月一日以後右ノ諸  
店ヨリ拂出ヤシ紙幣ニシテ其州立銀行ノ發行ニ係ル分ハ其高

ニ對シ壹割ノ稅ヲ拂フベキト定メリ

右ノ令タル既發ノ分ハ差置キ七月以來ノ州立銀行紙幣ニノミ  
稅ヲ賦課スルモノトス然ルニ此令ノ果シテ一定ノ法令トナル  
ノヲ判然スルニ至リシヤ否ヤ新約克州ノ諸州立銀行ハ勿論新  
英諸州及ヒ其他諸州ノ州立銀行ニ至ル迄其舊來ノ開業免狀ヲ  
返付シテ以テ更ニ國立銀行條例ヲ履行スルニ至レリ然ルニ此  
等諸州立銀行ノ斯ク一變シテ國立銀行トナリシハ畢竟州立銀  
行ノ之レヲ好ムニハアラスシテ全ク左ノ二事ヨリ外ナラス蓋  
シ州立銀行ノ豫想ヤシニハ國立銀行ナル者ハ將來自他類似ノ  
銀行ヨリ一層上流ノ性質ヲ得ルナルヘシトヤセシ故カ又ハ國立  
銀行ナル者ハ平素流通紙幣ヲ發行スルノ特權ヲ有スルモノナ  
ルニ付州立銀行モ此發行特權ヲ依然所有ヤシトテ欲ヤシ故カ  
此ノ二途ニ出テス

千八百六十五年第十二月上呈セシ紙幣頭年報ニ依レハ同年間ニアリテ州立銀行ノ変シテ國立銀行トナリシモノ其負數實ニ七百三十一ヶ所ニシテ同年歳末ニ於テ現ニ營業セシ國立銀行千六百〇一ヶ所アリ其内九百二十二ヶ所ハ州立銀行ノ轉變セシモノニ係ル

尤モ此等九百二十二ヶ所ノ州立銀行ト雖モ殆ント何レモ皆轉變シテ國立銀行トナルヲ欲セシニハアラザレモ何分轉變シテ國立銀行トナレハ國立銀行條例中掲載ノ通り二十ヶ年間其開業免狀ヲ連續シ得ルノ望アレハコソ斯ク轉變セシナリ

往日南北戦争ニ至ルノ前數年間ハ勿論戰爭中ニ於テモ此等ノ銀行ハ當時未タ州立銀行トナリテ營業セシカ營業失敗スルコトナク大ニ利得ヲ占メタリ最前此等ノ州立銀行ニ於テハ民間ハ貸與スルニ金貨ドルヲ以テシ其償却ノ時ニハグリイン

ベツキ紙幣ヲ受取リテ以テ今現ニ其發行紙幣ヲ抵當トシテ所有ヤル公債証書ヲ買入ルノ用途ニ供セリ然ルカ故ニ目下世上一般ノ信用スル所トハ大ニ相異ナリテ此等ノ州立銀行ニ於テハ其公債証書買入ノ為メニ巨額ノ利得ヲ占メサリシ

又國立銀行條例中ノ制限禁令ハ此等ノ諸銀行ニ取り固ヨリ煩ハシキモノニシテ大ニ人心ヲ得ザリシカ其銀行轉變シテ國立銀行トナリシ以來多年ノ經驗ニ依リ條例ノ至善至美ナルヲ初メテ諸銀行ノ知ル所トナレリ漸々歲月ヲ追フニ隨テ最前非常ニ異論抗拒ヲ被リシ制限禁令モ諸銀行ノ習慣スル所トナリ今ヤ異論ナキニ至レリサレハ今ヤ巨額ノ積立金巨大ノ預リ金莫大ノ貸付金ヲ所持スル堅牢ノ諸銀行ニ於テハ最早銀行法制ノ變更ヲ好マサルノ色アリ尤モ自他數ヶ所ノ銀行ノ如キ其位地左マデ好カラス又左マテ繁榮セザルモノ等ハ其往制限禁令

等ノ設ケナク官府、検査ヲ受クルナキノ法制ヲ想出シテ今日ノ法制一變スルヲ好ムナルベシ  
抑モ國立銀行ノ全躰ニ就テ視レハ決シテ國立銀行ハ皆國立銀行法制ヲ熱心主張スルモノニ非ス其然ル所以ハ如何ナル危嶮アルモ諸銀行連結シテ以テ之レヲ防禦センコトヲ唱約シ論議キル勢知ルモ是レ然ルガ故ニ仮令ニ今現行ノ法制廢止ノ舉アルモ諸銀行大ニ連結シテ以テ之ヲ廢止セシメザル程ノ勢アラザルヤ固ヨリ論ヲ俟タス  
却テ諸銀行ノ内數ヶ所ハ若シ舊行ノ州立銀行法制ヲ必ス復行スルコトニ決シ満足シタランニハ現行法制ノ廢止スルアルヲ默然了諾スベシ  
夫レ既發現存ノ分ヲ除キ州立銀行ノ紙幣ニ稅ヲ課賦スルトニ定メタル千八百六十五年第三月三日發行ノ條例ヲ廢セントス

ルノ回議ハ既ニ國會ハ衆議ニ付スル所トナリテ最後ノ衆會ノ節ニハ諸州ノ代議員輩此廢止ノ舉ヲ可トスル旨ヲ演說セシモノ一ニシテ足ラス加之南方諸州市府ノ内重モナル數ヶ所ノ商法會議所ニ於テモ此一割ノ紙幣稅廢止ヲ欲スルトニ決議セリ夫レ國立銀行法制ノ如キハ制限禁制ノ令アリ加フルニ其條款至良至善ナリト雖モ若シ徒ラニ徧見私論ヲ煽動スルアラハ廢減セラル、ヤモ或ハ量ルベカラスト雖モ果シテ廢減セラル、トアルニ於テハ忽チ舊來ノ州立銀行法制再用復行セラルベシ果シテ舊法制ノ行ハル、ニ至レハ其ニ百般ノ弊害ヲ再來スベキハ論ヲ俟タス實ニ其弊害ノ如キハ假令ニ除去セント欲スルモ終始此法制ニ密著シテ須臾モ離ル、ノ期ナキモノタリ  
新約克州、マッサチユセツ州、ウエスコニン州、イオワ州並ニ其他ノ諸州ニ於テハ凡ソ銀行紙幣ヲ發行セント欲スル者ハ國

立銀行條例ノ條款ヲ奉シテ發行セシ銀行紙幣同様ノ手續ニ照準シテ保証セラル、ニアラサレハ銀行紙幣ノ發行ヲ禁スルノ旨ハ載セテ法令中ニモアリ又其憲法中ニモアリトス此等ノ諸州各々紙幣發行ニ関スル斯等ノ法令憲法ノ設ケタルカ故ニ目今華盛頓府ノ出納局ニ於テ所有セハ公債証券轉シテ諸州ノ銀行資本トナルモノ實ニ巨額ニ至ルベキナリ果シテ然レハ其結果ハ世人ノ豫想スル處トハ大ニ異ナリテ政府ニ取り公債証券ノ利子ヲ省減スルヲ大ナラザルノミナラス猶且ツ俄然州立銀行ノ紙幣政府ノ保証ヲ有スルモノ並ニ有セザルモノ流通スルアリテ以テ目下國立銀行發行ノ同種類ナル紙幣ノ占メシ位置ヲ直ニ満タスヘキナリ夫レ然リ然リト雖既令此州立銀行ノ發行紙幣タル凡テ皆ナ能ク抵當ヲ備ヒ政府ノ保証ヲ有スルニモセヨ猶ホ各州區々ノ

法制ヲ施行スルアラハ到底全國ヲ通シテ同價同種ノ紙幣ヲ發行スルノヲハ得テ行フベカラス尤モ諸般ノ必用ナル制限禁令ノ如キハ夫々設ケラル、アルベシト雖既諸州ヲシテ各々其ノ州境外中央ノ地ニ於テ償却ヲナスコト同意セシメント欲スルカ如キハ空望ニ属スベシ又正金準備ノ事ニ付各州一定同様ノ法制ヲ履行シ若クハ諸計算等公告ノ式ヲ一定同一ニセント欲スルハ是レ亦空望ニ属スベキナリサテ又往日ノ如ク紙幣流通ノ場所ハ諸州境界ノ線ニ依リ廣狹アルヘクシテ南方諸州並ニ西方諸州ノ如キハ其發行紙幣多クハ其州内ニ止マルヘシ然ルニ新約克州並ニ新英諸州ヨリ發行セル紙幣ノ如キハ固ヨリ其州境界以内ニハ專ラ流通スルノミナラス猶且ツ凡ソ其發

行紙幣交換ノ支店ナキ諸州ニシテ通商ノ要地ヨリ遠隔ノ地ニ於テモ亦能ク流通ノ特權ヲ占ムルニ至ルベキナリサレハ東方諸州ノ社會ハ外ノ諸州ニ比スレハ他州ノ不安ナル紙幣ノ為メニ害ヲ被ムルコト甚ダ鮮少ナリトス然ルニ資本ニ富ムノ薄キ諸州ノ如キハ昔日ノ如ク亦正業ヲ營マサル銀行等設置ノ位置トナルニ至ラン

抑モ現行ノ銀行條例ニ依レハ過ル十五年間ニマリテ殆ト交換相場ヲ見サル程ニ至リシガ今亦再興スルニ至ラン益シ其交換相場ハ昔日ノ如ク左マデ巨額ナラザルベシト雖モ而ルモ尚ホ全國ノ商業取引上ニ取リ充分ノ重擔トナルベシ

夫レ國立銀行紙幣ノ如キ種類同一ノ紙幣ハ諸般ノ便益ヲ有スルアルモ能ク此理ヲ知ルモノハ僅々數人ニ過キザル而已試ニ其便益ヲ舉ケシニ國立銀行紙幣ハ充分ノ抵當ヲ備ヒ簡明ノ條

例ヲ遵奉シテ發行シ人民輻湊ノ地ニ於テ交換シ而シテ彼諸地方ノ紙幣ノ如キ價格一定ヤサルヨリ割引ヲ生スル等ノ患ニ罹ラザルモノニシテ憂モ危ム所ナキモノタリ

余ヤ西方諸州並ニ南方諸州ヨリ毎年新約克州ニ宛振出セシ為換ノ金額幾許ナルカ豫定ヤントテ是レ迄頗ル辛勞ヲ嘗メシカ即チ右ノ諸州ヨリ振出不為換ノ高ハ新約克州ニ宛テタル分而已ニテ毎年殆ント三十億ドルラレ内外ヲ以テ豫算額トナス然ラハ毎年西方諸州並ニ南方諸州ヨリ東方諸州ニ宛振出ヤシ為換ハ四十億ドルヨリ下ラサルベシト云フモ敢テ誣言トナスベカラス

東方諸州ノ商業繁榮ノ諸市並ニ諸州ニアル諸銀行ヨリ相互ニ振出ヤシ為換ノ金額是亦巨額ナリトス

千八百五十九年ニ於テハ南方諸州並ニ西方諸州ヨリ新約克州



宛振出セシ為換取組費ハ平均壹分乃至一分半ヨリ少カラザ  
リシ然ルニ今日若シ此ノ一分半ノ割合再興スルニ至ラハ為換  
取組ノ入費而已ニテモ毎年六千萬ドルヲルノ多キニ至ルベシ  
然ルニ若シ其割合只僅ニ五厘ナリシナラハ毎年為換取組ノ為  
メニ二千万ドルヲルノ損失ヲ生スベシ(千八百六十年間新約克  
州ノ相場ハ右ノ如クナリシ)猶ホ此外ニ銀行ノ發行紙幣ニ付キ  
若干ノ損失アリト雖モ先ツ暫ラク其損失ヲ見積ラヌシテ既ニ  
以上二千萬ノ損失ヲ生スルモノトス

抑モ現行ノ國立銀行條例タル實ニ適度ヲ得ルモノニシテ銀行  
ノ資本並ニ準備金ハ夥多其積立金ハ巨額ニシテ各條各款トモ  
至良至善ナルモノナルニ之ヲ廢止スルアラハ政府發行ノ二種  
ノ紙幣代用セラル、ニ至ルカ否ラザレハ州立ノ銀行條例ヲ奉  
シテ發行セシ銀行紙幣代用<sup>セラ</sup>ル、ニ至ルベキナリ(但シ右ノ政府

發行ノ紙幣ノ如キハ其内ノ一種若クハ二種トモ全貨ニ對シ割  
引アルモノニシテ加之其流通ノ價格同シカラザルモノナリ)右  
ノ二者何レヲ施行スルモ宜シキニ適ヤザルベシ何トナレハ一  
ハ以テ國會集議、都度議員ノ所見變動スル毎ニ多少ノ異変ヲ  
生スベク他ノ一ハ又四十ヶ州ノ立法官各々其獨見ヲ以テスル  
カ故ニ多少ノ變動ヲ生スベクザレハナリ

夫レ議者或ハ現行ノ國立銀行條例ヲ廢止セントノ説ヲ吐露ス  
ル所以ノモノハ他ナシ他日正金拂ノ愈再行復用セララル、ノ日  
ヲ俟テ目下現存ノ諸銀行中重モナルモノヲ閉店廢業セシメナ  
ハ政府ニ取り大ニ費額ヲ省減スル所アラント思考スルカ為メ  
ナリ然ルニ仮令ト斯ク閉店廢業セシメタレハトテモ政府ニ取  
リ臺モ費額ヲ省減スル所ロナカルベシ却テ之カ為メニ毎年數  
百萬ドルヲルノ損失ヲ人民ニ被ラシムルニ至ルベキナリ但シ





千八百六十四年ニ於テハ大藏省紙幣并ニ國立銀行紙幣ノ價格トモ何レモ金貨一ドルラレニ付僅々三拾九セント以下ニ止マレリ然ルニ目下ニ至リテハ此等兩種ノ紙幣トモ騰貴シテ九十九セント八七ノ相場トナルニ至レリ

夫レ自今此後不定變動ナル價格ノ標準ヲ當國ニ使用スルコトヲ廢シ更ニ各地皆正真確實ノモノトシテ奉体認領スル一標準ヲ代用スルハ實ニ當國會ノ職分ナリ抑モ當國ノ商業取引上ノ利害得失ヨリシテ視レハ當國ニハ萬古不易ノ財政在ルアリテ寸分モ政黨者流ノ權威ヲ被リ又各州立法官輩ノ區々ノ所見等ニ關係スルモノナキヲ要スルヤ固ヨリ論ヲ俟タス

前ノ大統領リンコルン氏之レヨリ前千八百六十二年第十二月一日其年報ヲ國會ニ寄セリ其文ニ云ク

財政ノコトハ國會ノ深ク熟考思慮スルアラシク要スベシ賊

徒征討鎮壓ノ為メニ海陸ノ兵ヲ出軍シ巨額ノ費途ヲ要セシ  
分ハ是レ迄即時流用シテ以テ急場ノ用途ニ應スルヲ得タリ  
故ニ成規定例等尋常ノ手續ヲ履マザルモノ多キハ必セリ矣  
然ルニ至幸國信ヲ堅ク保持スルヲ得タリ然シ何分戦争久シ  
キニ涉リ止ムヲ得ス目下陣中出軍ノ兵ヲ増員セシカ為メニ  
費途亦多キヲ加フルニ至リタレハ冀クハ商業上ニ損害ヲ醸  
スヲナク又勤勞上ニ成ルベク丈々至少ノ重擔ヲ被ムラシメ  
テ以テ今日ニ必要ナル歲入ヲ得ルノ良法如何ニ付宜シク沈  
思萬考スル所アラントヲ要ス

前田國會ノ集會開議ノ後直チニ諸銀行トモ正金拂ヲ一時見  
合セシヨリ止ムヲ得ス巨額ノ合衆國紙幣ヲ發行スルニ至  
レリ

蓋シ當時ニ於テハ此合衆國紙幣ヲ發行スルノ外ニハ軍費ヲ

仕拂ヒ其他百般ノ需用ニ應スベキ輕便至良ノ法方之レナク  
餘儀ナク此紙幣ヲ發行スルニ及ヒタルモノナリ

然ルニ國會欠典ナク普ク令ヲ布ヒテ以テ凡ソ諸貸借及ヒ内  
國稅等ニ右ノ合衆國紙幣ヲ授受シ且ツ其他百般ノ取引上等  
ニ於テモ合法貨幣トシテ之ヲ使用スヘキト定メシカ故  
ニ其紙幣ハ全國ニ普ク流通スル所トナレリ隨テ是レ迄久シ  
ク普通ノ通用紙幣ナルモノ米國ニ備ハラサリシニ一時稍ク  
其欠ヲ補フニ至レリ之レカ為メニ自然從來割引、為換取組等  
ニ於テ巨額ノ損失アリシモノヲ人民ニ被ムラシメザルニ及  
ヘリ

夫レ正金拂一時見合ノ事タル固ヨリ萬止ムヲ得サルニ出ル  
ト雖モ宜シク百般ノ利害得失等ヲ觀察シ成ルベキ丈々速ニ  
復行スルヲコソ平素深思萬考ヤザルベカラザルモノナリ

抑モ紙幣ノ價格變動止ムナキハ實ニ有害ノモノタリ然リ而  
メ此變動ヲ減シテ成ルベキ丈ヲ至少至下ノ點ニ下ラシムル  
ハ良法明令ノ主眼トスル所ナルベシ夫レ紙幣ヲシテ迅速確  
實ニ正貨ト交換セシムルノ舉ハ紙幣ノ價格變動スルヲ防ク  
ノ至良至賢ノ法タルハ衆庶ノ了知スル所ナレハ今復喋々ヲ  
要セズ

抑モ正貨ヲ以テ交換スベキ紙幣ニシテ人民ノ需求ニ應スル  
ニ足ルモノヲ永世不易ニ安然トシテ將來ニ維持シ得ベキカ  
否ヤハ頗フル疑ナキヲ免レス

然ラハ其他何等ノ方法ヲ設ケテ以テ公衆ノ需用ニ應スルヲ  
得ベキカ又確實同一ノ紙幣ヲ發スルノ至便至益ヲ何ニ依テ  
以テ得ベキカ余ハ國會ノ衆議ニ依リ一般條例ヲ設ケテ以テ  
國立銀行ナルモノヲ設立セハ其結果期スベクシテ且ツ毫モ

異論ヲ唱フル所ナシトス他ニ其法ヲ知ラス

抑モ此等ノ國立銀行ハ政府ニ於テ銀行ヨリ各衆國公債証  
書ヲ預リ其抵當トシテ流通紙幣ヲ下付スベキモノトスベシ  
サレハ此等ノ銀行紙幣ハ皆然ルベキ官吏ノ監督視察ヲ經テ  
調製シ其模様モ同一其抵當モ同様ニシテ且ツ何時モ持參人  
ノ望ニ應シ正貨ト交換スベキ成規ノモノト定レハ不良ナル  
紙幣ノ弊害ヲ防ヒテ以テ忽チ勤勞ヲ保護シ隨テ為換ノ取組  
低廉確實ニ至ルヨリシテ大ニ通商ヲ便ニスル所アルベキ  
ナリ

又出納局ニ預リ置キタル公債証書ノ利子ノ内ヨリ相當ノ金  
額ヲ引去リテ以テ銀行紙幣調製費并ニ其配分ノ費用ニ充テ  
銀行一般ノ検査監督費ヲモ償フベシサレハ抵當トシテ出納  
局ニ預リ置キタル公債ノ内其部分丈ケノ重擔ヲ軽減スルニ

至ルベシトス

猶ホ夫レ而已ナラス國信モ亦大ヒニ増加スルニ至ルヘシ隨テ政府ノ諸公債証書ヲ需求スルモノ陸續増加スルカ故ニ新ニ公債ヲ募集スルノ大ニ容易ナルヘシ但シ建議スル所ノ國立銀行法制ヲ國會ノ允可採用スルアラハ諸公債証書ノ相場陸續騰貴スヘキハ固ヨリ論ヲ竣タス

余カ見ル所ニ依レハ目下現在ノ諸州立銀行ヲシテ更ニ國立銀行條例ヲ奉シテ再說セシムルノ好機會ニ乘シ諸地方諸種ノ銀行紙幣ヲ廢シ更ニ政府ノ保証ヲ得タル同一ノ國立銀行紙幣ヲノミ代用スルヲアラハ利害得失ノ閑スルヲ實ニ鮮少ナラザルヘシ是レ銀行條例ノ允可アラントヲ勸ムル所以ナリ

同氏又千八百六十三年十二月八日其年報ヲ國會ニ寄セ右同新

ノ趣旨ニ付論シテ云ク

容歲中出納局金融運轉ノ狀況ハ萬事都合能ク行届キタリ又國會ニ於テ國立銀行條例ヲ布キシヲ以テ為ノニ大ヒニ國信ヲ補翼セリサテ又貸借上ニ閑スル一般ノ法令ハ充分能ク行ハレテ之レカ餘德ヲ被ムル輩ノ所望通りニ行届キタリ蓋シ現行ノ法令ヲ完全完美ノモノトナサンニハ或ハ一二ヶ所ノ改正ヲ要スルヤモ量リ難シト雖其細領弁ニ大意ニ至リテハ寸毫モ變更ヲ要スルノ廉ナカルベシト信ス

右ノ銀行條例等施行以來ハ海陸軍ノ諸拂渡トモ凡ソ出納局ヘ係ル一切ノ需求ハ即刻之レニ應スルヲ得充分ニ之レヲ満足セシムルニ至リタリ

想フニ今日程大軍ヲ募リ兵備ヲ充分ニセシノ日ハ古今ニ其比ヲ見ザルベシ又今日程兵士ノ俸給ヲ寬ニシ遲滞ナク期限

通り之レヲ拂渡ヤシトモ勿ルベシ尚ホ一步ヲ進メテ論スレ  
ハ凡ソ今日ノ大戦ニ関スル軍備程快然トシテ人民ノ募集ニ  
應セシトハ亦古今ニ其比ヲ見ザルト云フモ可ナラン  
公氏又千八百六十四年十二月六日其年報ヲ國會ニ寄ヤ石同断  
ノ趣旨ニ付論シテ云ク

我米國ノ國立銀行法制ハ財主輩ハ勿論人民ニ取リテモ漸々  
善諾セラル、ノ色ヲ表ヤリ既ニ十一月二十五日ニ於テハ國  
立銀行創立ノ総數五百八十四ヶ所ニシテ其内過半ハ州立銀  
行ノ轉變シテ國立銀行トナリタルモノニ係ル

今ヤ州立銀行ノ轉變シテ國立銀行トナルモノ陸續トシテ止  
マス其變化極メテ急速ナルヲ視レハ爾來國會ヨリ許可セザ  
ル銀行ト政府ノ保証ヲ得ザル銀行紙幣トヲ憂モ我合衆國內  
ニ見サルニ至ルノ日ハ甚々近キニアルベキヲ信ス

抑モ今日ノ如ク我米國ノ銀行法制一變スルヨリシテ我政府  
ト人民トカ至大ノ裨益ヲ得ルアルハ固ヨリ疑フベカラズ蓋  
シ國立銀行法制ナルモノハ其影響ヲ永世不易ニ波及スルア  
リテ大ニ國信ヲ補翼スル所アルベキハ勿論又加之紙幣使  
用上ニ於テ人民ヲシテ損失セシムルコト勿ラシムバシ尤モ今  
日猶ホ更ニ法令ヲ布テ以テ州立銀行紙幣ノ發行ヲ停止スル  
ハ利カ害カハ宜シク國會ノ斟酌決行スベキモノトス夫レ然  
リ而シテ凡ソ全國ノ銀行紙幣流通上ニ関シ制限ヲ設クベキ  
ノ權ヲ政府ニ委スルニアラザレハ出納局ニ於テハ其運動ヲ  
充分ニ能ク舉行スベカラザルハ實ニ昭々乎トシテ明ラカ  
リ  
國立銀行條例發行以前一ヶ年有餘ニ當リ大藏卿「チエース」氏其  
建議セシ國立銀行法制ノ「」ニ関シ論シテ云ク



抑モ國立銀行法制ノ主眼細領タル第一ニハ政府ノ官印ヲ捺シ政府ノ許可ヲ得タル紙幣ヲ發行シ第二ニハ銀行ハ銀行紙幣ヲ下付シ之レヲ發行交換セシメ第三ニハ銀行ヲシテ合衆國ノ公債証書ト充分ノ正金トヲ出納局ニ預ケシメテ以テ其發行紙幣交換ノ抵當ニ備ヘシムルヲ是レナリ夫レ以上ノ如キ方法ヲ設ケテ以テ國立銀行紙幣ヲ發行スルノヲアラハ凡ソ人民ハ其日常諸取引ノ際之レガ為メニ便益ヲ被ムルヲ鮮少ナラザルベシ蓋シ其便益トハ他ナシ紙幣ノ種類同一同種ナル也、紙幣ノ價格下落スルヲ防クベキ有効ノ防禦トナル也、割引並ニ交換上等ニ於テ損失スルヲ免ルノヲアル也、然ルニ尚又人民カ政府ノ運轉上ニ於テ利スル所少ニアラズ即チ政府發行ノ公債証書ニ巨額ノ需求ヲ起ス也、軍用ノ公債ヲ募集スルニ付テノ便易増加スル也、殖産ニ及ボス

ノ重擔ヲ稍輕減スルヲアル也、蓋シ殖産ニ及ボスノ重擔ヲ輕減スル所以ノモノハ他ナシ諸銀行ノ貨幣專有權ノ危險ヲ冒ストナク其銀行紙幣流通ノ利得配分ノ割合ヲ減少スルニ由ルナリ以上諸利益ノ外猶ホ人民ニ取り至緊至要ナル便益ハ合衆國公債証書ノ需求増加スルニアリ是レ全國ノ諸銀行ニ於テ皆公債証書ヲ以テ其發行紙幣ノ抵當トナスカ故ニ公債証書ノ諸銀行ニ配分セラル、ニ因ルモノトス卑見ニ依レハ若シ我國ニ於テ如何ナル種類ノ紙幣ニテモ發行セシムルヲ欲スルトナラハ夫レコソ此國立銀行法制ヲ踐行シテ紙幣ヲ發行スルコソ願ハシケレ余カ見ル所ニ由レハ夫レ斯ノ如ク發行保証セシ銀行紙幣ハ是レ迄我米國ニ於テ發行セシ紙幣ノ中ニ就テ最モ安穩ナル紙幣タルヘシ然ルニ又其紙幣ヲ政府ノ諸稅海關稅ハ除キ上

約等ニ於テ受取ルベキトナサハ合衆國中各地至ル所ニ皆  
同價ニテ流通授受セラル、ナルベシ  
目今合衆國中ニ在ル正金ハ巨額ナレハ之レヲ以テ正金ニテ  
仕拂フベキ諸税ニ充ルハ容易ナルヘシ然ルニ此正金ヲ以テ  
拂フベキノ事アリ加之正金ノ需求止ムトナケレハ此正金ヲ  
當國ニ保存シテ以テ之レヲ流通紙幣并ニ公債証書ノ抵當ト  
ナスニ足ルナルベシ  
蓋シ僅々タル外國貨幣ヲ除ケハ我米國ノ通用貨幣ハ正金モ  
紙幣モ共ニ兩三年ノ後ニハ凡テ米國ノ官印ヲ捺スルニ至ル  
ベシ然ルニ其紙幣ノ如キハ平素其額ヲ容易ニ明知スルヲ得  
ルハ勿論又平素公衆ノ普ク明知スベキモノナレハ商業取引  
上ノ需用ニ應スル分ノ外ハ増加スルノ患ヒ勿ルヘシトス  
余ハ愈々信シテ以テ此舉ノ良善ナルヲ主張ス其然ル所以ノ

モノハ他ナシ抑モ此舉ノ如キハ經驗ノ上ニ就キ實ニ之レヲ  
採用施行スベキノ至益アルモノニシテ決シテ架空ノ論理ニ  
非ラザレハナリ  
既ニ新約克州并ニ其他一兩州ニ於テハ此舉ノ眼目ノ廉ハ皆  
實施試験セラル、所トナリタルニ果シテ實用ニ適シ有要ノ  
モノタルヲ証スルニ至レリ然ラバ則テ廣ク公衆ノ允可ヲ得  
テ此舉ヲ普ク全國ニ施行スルナラハ其舉ノ實效ヲ奏スルノ  
勢ハ陸續トシテ増加スベキナリ  
前ノ大藏卿「チエース」氏ノ論ヤシ所概テ斯ノ如シサレハ斯ク氏  
ノ先見豫論ヤシ所ト其結果トハ毫モ違フ所ナカリシナリ何ソ  
ヤ云ク諸國立銀行ニ於テ合衆國ノ公債証書ノ内五分ノ一内外  
ヲ所有スルヲ殆ト止ムナシ然ルヲ以テ此等公債証書ノ價格増  
加シ隨テ政府ノ信憑モ昔日ニ倍スルニ至レリ然レハコソ輓近

海外ヨリ巨額ノ公債証書ヲ我國ニ戻セシ時ニ於テモ其價ヒ下  
落ヲモ生ヤスシテ皆内國ニ賣捌ケ抵當トナリテ以テ安穩全一  
ノ紙幣ヲ發行セシムルニ至リタレハナリ  
仮令ニ諸銀行ニ於テハ其銀行紙幣流通上ヨリ利得ヲ受ルコト  
ルト虽モ諸州トモ其割引相場交換相場并ニ金利ノ割合トモ減  
少シ隨テ人民モ亦幾分カ其利得ヲ共分スルニ至レリ  
今ヤ何地ノ銀行紙幣トテモ合衆國中各地ニ於テ皆同價ニ流通  
シ全國ノ通貨ハ紙幣并ニ正金トモ皆官印ヲ押捺セシモノニ條  
ル

目今當米國ノ所有セル正金ハチエース氏ノ豫算セシヨリモ餘  
程巨額ニ至レリ今造幣局長ノ豫算スル所ニ依レハ全國ニアル  
正金并ニ地金ヲモ合セテ總額三億五千八百万有餘アリトス今  
猶ホ此高陸續増加スルノ色アリ然リ而シテ此高ハ則チ今日ノ

銀行紙幣ノ抵當基礎トナルモノナリ

既ニ國會ニ於テハ正金本位ヲ復用再行スルノ時日ヲ一定セリ  
サレハ之レカ為メニ要用トスル法令ハ他ナシ此舉ヲ完フスル  
ニ於テ現ニ營業ノ諸事整理セル諸銀行ヲ倒スナク却テ之レト  
共心同カスベキノ處置ヲ施スコト是レナリ

尤モ若シ此舉ヲ實行スルニ當リ現行ノ銀行法制ヲ改正ヤンコ  
ト欲スルアラハ之レカ為メニ此大國ノ信憑ヲ墜シ若クハ商業  
取引上ニ大害ヲ醸スコトナク適宜改正ヲナスハ可ナリ

正金拂再行ノ事並ニ準備金ノ事

銀行條例ニ依レハ凡新約克府ノ諸銀行ニ於テハ其預リ金ニ對  
シ貳割五分ノ準備金ヲ正金ニテ備置クヘキモノトス而シテ自  
他ノ重立タル諸府ニアル諸銀行ニ於テモ亦タ同高ノ準備金ヲ  
備置クベキコト定ム但シ其内一半ヲ銀行ニ備置キ残り半額ハ

BT 191

銀行	現金	準備金	貸付	負債	資本
ニューヨーク	50,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
ボス	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
アル	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
ヒラテ	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
ピ、リ、	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
バル	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
ワシ	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
ニュー	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
ルイ	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
シン	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
クレ	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
チカ	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
デト	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
ミル	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
セント	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
サン	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
他	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
二	10,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000

十月一日現ニ新約克府ノ諸銀行ニ於テ所持セシ合法紙幣資本  
 金額ハ實ニ五十〇九十二万五千七百六十九ドルニシテ

新約克府ハ預ケ置クベキモノトス  
 自他ノ諸銀行ハ何レモ皆其預リ金ニ對シ壹割五分ノ準備金ヲ  
 備置カサルベカラス  
 但シ其ノ内五分ノ二ハ是非トモ合法貨幣ヲ以テ常ニ銀行ニ備  
 置カサルベカラス而メ殘額ノ分ハ重立チタル諸府ニアル諸銀  
 行ハ預置クモノトス  
 本年十月一日現ニ諸銀行ニ於テ備置キシ準備金ハ却テ成規ノ  
 分ヨリモ巨額ナリシハ即チ次表ニ就テ知ルベシ



銀行名	準備金	現金	高麗紙幣	合計
第一銀行	8,200	8,400	20,000	36,600
第二銀行	2,000	2,000	18,000	22,000
第三銀行	0,000	0,000	28,000	28,000
第四銀行	0,000	0,000	12,000	12,000
第五銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第六銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第七銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第八銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第九銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第十銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第十一銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第十二銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第十三銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第十四銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第十五銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第十六銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第十七銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第十八銀行	0,000	0,000	10,000	10,000
第十九銀行	0,000	0,000	20,000	20,000
第二十銀行	0,000	0,000	10,000	10,000

十月一日現ニ新約克府ノ諸銀行ニ於テ所持セシ合法紙幣資本ノ金額ハ實ニ五千〇九十二万七千五百七十六ドルラシシテ則チ其銀行ノ預リ金ニ對シテハ貳割六分ト十分ノ八ニシテ流通紙幣ト預リ金トノ兩者ニ對シテハ貳割四分ト十分ノ三ナリシ

又新約克府ヲモ込メ重立ナタル諸府ニアル銀行ニ於テ備置キタル準備ノ金額ハ總計九千二百九十三万四千二百二十三ドルラシシテ則チ其諸銀行ノ流通紙幣ニ對シテハ拾貳割二分ト十分ノ四ニシテ其預リ金ニ對スレハ貳割三分ト十分ノ九ノ割合ナリシ

又諸國立銀行ノ準備ノ總額ハ壹億四千二百九十五万五千七百十八ドルラシシテ則チ當時現ニ營業セル諸銀行ノ未償紙幣ノ總額ニ對スレハ四割七分ト十分ノ三ニシテ其預リ金ニ對ス

レハ貳割壹分ト十分ノ一ノ割合ナリシ

抑モ此準備ノ総額壹億四千二百九十五万五千七百十八ドル  
ルノ内三千〇六十八万八千六百六十九ドルハ正貨ニシテ九千  
七百〇六万五千五百七十一ドルハ合法紙幣ニ係リ残り千五  
百二十〇萬五千五百四十一ドルハ無テ發行紙幣償却ノ資  
本ニ備フルカ為メニ出納局へ預ケ置キシモノニ係ル

是ニ依テ之ヲ觀レハ我諸銀行ニ於テハ條例ノ趣旨ヲ遵奉シ合  
法紙幣ヲ以テ其發行セル銀行紙幣ヲ交換スルノ用意充分ニ能  
ク整理スルアルハ瞭然タリ

夫レ新約克府ニアル國立銀行並ニ州立銀行ハ勿論ホストン府  
ノ諸銀行ニ於テモ業已ニ正金拂再行ノ舉ニ付納局ト協力ス  
ベキノ意ヲ表セシハ全府交換所ノ軌近ノ處置ヲ以テ知ルベシ  
但シ其處置如何ハ載セテ此報告書中下文ニアリ就テ見ルベシ

又タ正金拂再行ノ舉ハ無テ發令ノ通り來一月一日ヨリ施行ス  
ルモノトス

夫レ正金拂再行ノ舉ヲ奨勵シ隨テ永世不易ニ諸銀行ノ預リ金  
ノ價格ヲ一定セシムルハ巨万ノ資産ヲ有スル諸銀行ニ取リテ  
而已ナラス猶且ツ貯金預リ銀行ハ八億万ドル有餘ノ預ケ  
金ヲナヤシ預ケ主輩ト其他ノ諸銀行ノ預ケ主輩トニ取リテモ  
頗ル有益ノ事ナリトス蓋シ正金拂ノ舉再行セラル、ニ於テハ  
合法紙幣ナル者ハ新約克ノ出納局支局ニ於テ需求次第正金ト  
交換ナルベキモノトナルベシサレハ其合法紙幣ハ一般ノ使用  
上ニ於テ正金ヨリモ一層便利ナルノミナラス猶ホ且ツ衆人ノ  
好ムトコロトナルベシ

現ニ今出納局ニ於テ所有スル正金ノ額ハ壹億四千万ドル  
ニシテ則チ合法紙幣發行ノ総額ニ對シ四割有餘ニ相當スルモ

ノナリ而シテ此正金壹億四千萬ドルラハ右ノ合法紙幣償却  
ノ用ニ供スルモノトス然ルニ右ノ合法紙幣總額ノ内三分一  
内外ハ諸銀行ノ所有ニ係ルモノトス故ヲ以テ若シ當米國ノ諸  
銀行ニシテ果シテ能ク出納局ト協力シテ以テ正金拂再行ノ舉  
ヲ施行スルコアラシメハ再行ノ舉必ラス成就スベシ  
仮令若シ當米國ノ諸銀行皆々協力シテ以テ此舉ニ從事セザル  
コアルトモ其結果ニ至リテハ毫モ之レガ為メニ影響セラル、  
コナシ何トナレハ若シ幾許ニテモ巨額ノ合法紙幣ヲ出納局ニ  
於テ正金ト交換シテ以テ流通上ヨリ引戻スコアラハ合法紙幣  
ハ漸々減少シ正金代用流通スルニ至リ商業取引上等万般ノ需  
用ニ應シテ以テ紙幣減少ノ高ニ代ルベケレハナリ  
果シテ然ルハ其後直ニ海關稅其他内國ノ諸租稅上納ノ為  
メニ正金ヲ出納局ニ返付スルコアルベシ又正金ヲ出納局ニ差

出シテ以テグリエンバツキ紙幣ト交換センコトヲ乞フモノモア  
ルベシ然ルニ此グリエンバツキ紙幣ハ正金ト交換スベキモノ  
ナルガ故ニ普ク公衆ノ然諾スル所トナルベキハ恰モ英佛ノ兩  
國民ガ目下其正金ヨリモ却テ英國銀行并ニ佛國銀行紙幣ヲ好  
ムト一般ナリ

夫レ出納局ト諸銀行ト協力シテ以テ其發行紙幣ヲ容易ニ交換  
シ得ルハ先ツ暫ク然リトスルモ尚ホ間々説ヲ唱フルモノフ  
リテ云ク諸銀行トモ其預リ金ニ對シ準備金ヲ備置クノコトハ難  
カルヤシト依テ余ハ最前此趣旨ニ就テ論辨セシ所ノモノヲ更  
ニ左ニ再出シテ以テ論者疑問ニ應答セントス

凡ソ論者カスノ如キ所見ヲ懷ク所以ハ他ナシ論者思ラク諸  
銀行トモ其預リ金ヲ正金ニテ拂戻スヘキモノト定メラル、  
ナルヘシト豫想スルニ由レハナリ夫レ斯ノ如キハ仮令ニ從



前正金拂ノ舉アリシ時期ニ徴テモ其然ラサルヲ知ルニ足  
レリ現行ノ國立銀行法制ニ依レハ尚ホ以テ然リトス  
當米國ノ諸銀行ハ其創立以來正金拂再行ノ時モ正金拂一時  
停止ノ日モ其取引先ヨリ當時通用ノ銀行紙幣ヲ受取り又全  
紙幣ヲ拂出セリ是レ今日英國、蘇格蘭、日耳曼、其他佛國ニ於テ  
モ然ラザルハナシ夫レ此等ノ諸國ニ於テモ人々其紙幣ヲ好  
ムヤ遠ク金貨若クハ銀貨ノ右ニ出ツルモノトス  
千八百六十三年以前ニ於ケル我銀行紙幣ノ内安穩ニシテ而  
モ交換スベキモノ僅々小額ニ限ル而已ナリシカ然ルモ尚ホ  
此等ノ銀行紙幣ト雖モ通商ノ諸市ノ外ニアル諸銀行ニ於テ  
疑念ナク自由ニ之レヲ受取り又其預ケ主ヘモ難ナク之ヲ拂  
渡セリ是ヲ以テ各銀行等相互ニ利害ヲ共ニスルノ密ナリシ  
ハ推シテ知ルベシ

凡ソ商業輻湊ノ諸地ヨリ銀行紙幣ヲ送付シテ之レカ交換ヲ  
乞フモノ、如キハ容易ニ拂渡シテ以テ更ニ其紙幣ヲ流通ニ  
供セリ然リ而シテ正金ノ需用ハ何レノ地ニ生スルコトアル  
トモソハ全ク通貨ノ過度ナルニ職由スルカ否ラザレハ其紙  
幣ヲ發行セシ銀行ノ信憑世ニ薄スキノ然ラシムルモノ多キ  
ニ居ルナリ  
凡ソ國立銀行ノ紙幣ハ安穩ナルヲ若シ其紙幣ヲ之レカ發行  
主タル銀行ニ於テ交換セザルハ更ニ出納局ニ乞テ合法紙  
幣ト交換ヲ為スヲ得ヘキヲ銀行紙幣交換ノ為メニ備置キタ  
ル抵當ハ其交換ノ用途ニ供スルニ充分ナルヲ等以上ノ諸件  
ハ目下我米人ノ能ク了知スル所ナリ  
然ルカ故ニ是レ迄十四年來銀行紙幣ヲ使用メ一「ドル」ラ  
ルノ損失ヲモ被ムラザリシ我米人カ今ニシテ其預ケ金ノ拂ニ銀

行紙幣ヲ受取ルコトヲ拒ムノ理由ハ之レアルマジ  
抑モ此等ノ銀行紙幣ハ政府之ヲ保証スル而已ナラス猶且ツ  
輸入税ヲ除クノ外其他ノ諸税ヲ拂フニ政府之レヲ受取り又  
公債証書ノ利子ト国立銀行紙幣ノ交換ヲ除クノ外ハ諸仕拂  
上ニ於テ政府之レヲ使用スルモノナリトス  
諸国立銀行ヨリ人民ニ貸與セシ金額ハ現ニ八億八千萬ドル  
ラルナリ依テ改定成文律第五千九十六章ニ云ク凡ソ各國  
立銀行トモ人民ヨリ銀行ニ其許負債ヲ拂フニハ條例ヲ遵奉  
シテ設立シタル国立銀行ノ内何レノ銀行ヨリ發行セシ何種  
ノ紙幣若クハ為換手形タリトモ平價ニテ受取ルベキモノト  
定ムト  
然レハ現ニ今人民ヨリ国立銀行ニ拂フベキ負債八億八千萬  
ドルヲアルアリトス是レ人民ノ預ケ金ヨリモ多キト巨額ナリ

トス但シ其預ケ金ハ當合衆國中何レノ銀行ヨリ發行セシ紙  
幣ヲ以テ拂戻スモ妨ナキモノトス  
サレハ国立銀行紙幣ハ以前諸州ヨリ發行セシ種類不同ノ銀  
行紙幣トハ其性質ヲ全ク相異ニスルモノトス尚ホ夫レ而已  
ナラス国立銀行ノ預ケ金ハ其銀行ノ株主輩ト借主輩トニテ  
所有スルモノ巨額ニ居ルモノトス況ンヤ銀行ノ供給如何ヲ  
視察スルノ商賈輩並ニ銀行ノ運轉如何ニ依リテ其損益ヲ生  
スルノ株主輩ハ豈ニ容易ニ其銀行ノ信憑ヲ傷害スルノ舉ニ  
全盟スルコトアラシヤ  
夫レ預ケ金ヲナシ首トシテ繰替拂ヲナスヲ要スルモノハ為換  
手形等ノ如キ商券類割引ヨリ生スルモノ多キニ居ルト雖正  
貨若クハ紙幣ヲ受渡シスルコトナク記簿帳上ニ於テ移算ヲナ  
シテ以テ拂戻シヲナスコト亦巨額ナリトス然ルカ故ニ全國ニ通

シテ凡ソ巨額ノ仕拂ハ一切通貨ヲ用ヒスシテ唯引出切手ヲ以テ之ヲナスモノトス現ニ重立タル諸府ニ於テハ交換所ノ手ヲ經由シテ以テ此等巨額ノ仕拂ヲナスモノトス是レ迄貳十四ヶ年間ニ新約克交換所ノ為換高ハ四千五百四十億万「ドル」ニシテ通貨ヲ以テ拂渡セシ差額ハ僅ニ壹百九十億万「ドル」以下ニ止マレリ又此ノ全年間日々ノ為換高ハ平均六千一百万「ドル」有餘ニシテ通貨ヲ以テ拂渡セシ日々ノ差額ハ平均唯僅ニ二百五十万「ドル」ニ過ギスシテ即チ壹「ドル」ニ付四「セント」ト五分ノ一ノ割合ナルハ更ニ計上スル所ノ一表ニ就テ明了ナリ宜シク之レニ就テ閲覽スベシ曾テ千八百二十一年英國ニ於テ其正金拂ノ舉ヲ再行セシ以後即時僅ニ金貨ノ需求アリタレハ爾後左マテ之ヲ欲スルモノナ

カリシ然ルニ佛國ニ於テ千八百五十年佛國銀行ニ於テ其正金拂ノ舉ヲ再行セシト雖モ全シク然レリ又我米國ニ於テ千八百三十八年ト千八百五十八年ノ兩度ニ此舉ヲ再行セシ時モ全然タリシ

佛國銀行ノ如キハ目下又正金拂ヒ一時停止ノ模様ナリ然リト雖モ世人其銀行紙幣ヲ好ムト逞ク正金ノ上ニ出ツルノ色アリ是レヲ以テ全銀行ニ於テハ其發行紙幣ノ内若干ヲ減シテ正金ト交換セント欲スルモ甚タ難キヲ覺フルノ勢アリトスサレハ我國ニ於テモ愈正金拂ノ舉再行セラル、アラハ忽チ正金ヲ以テ現ニ拂渡ヲ需ムルヲ欲スルノ思想ハ雲散霧消スベシ果シテ然ラハ銀行者ノ内ニテ其預リ金ハ皆々正金ニテ拂戻サシテヲ要求セラル、ナルベシトノ懼ヲ懷クカ如キ怯懦ナル銀行者輩ハ宜シク其預ケ主輩ト定約ヲ締結シテ以テ其預リ金ハ

目今、如ク通貨(即チ合法紙幣並ニ正金拂ヲナス銀行ノ銀行紙幣)ヲ以テ拂戻スベキコトヲ約シ置カハ将来ノ恐怖ヲ去ルニ足ラ

本編佛國銀行ニ於テ正金拂ヒ一時停止ノ旨ヲ草セシ以來佛國銀行ハ復タ正金拂ヒ再行ノコトニ決セリ然ルモ別段正金ヲ需求スルモノ毫モ之レナシト云フ

正金拂ヒ再行ノ舉ニ関シ新約克交換所軌近ノ安置ノ事附其創立以來為換ノ事

抑新約克交換所ハ國立銀行四十五ヶ所州立銀行十三ヶ所ト協力共立スルモノニシテ本月當紙幣寮ト約定ヲ締結シテ以テ凡ソ為換手形、引切手等當府ノ出納副長局ト諸銀行ノ間ニ轉傳スルモノ、仕拂ヲ大ヒニ輕便ニスルコトヲ得タリ其約定ノ條款即チ左ノ如シ

第一條 自今以後凡ソ新約克府ノ交換所同盟銀行中何レノ銀行ハ宛振出タル為換手形ニテモ同府ノ出納副長ノ受取りシ分ハ其交換所ニアル名宛ノ銀行ハ差出シテ拂渡シヲナスモノト定ムベシ

第二條 自今以後凡ソ新約克府ノ出納副長ハ宛振出ヤシ為換手形ハ交換所ニ於テ出納副長ニシテ差引決算スベシ而シテ出納副長ヨリ拂フベキ差額アルハ同局ニ於テ合衆國紙幣若クハ交換所証書ヲ以テ拂渡スベシ

第三條 凡ソ交換所同盟ノ銀行中何ノ銀行ヨリ出納副長ハ差出ス引出切手ニテモ来一月一日以後ニ係ル分ノ仕拂ハ合衆國紙幣ヲ以テ出納副長ヨリ拂渡スベシ

爾來交換所ニ於テハ更ニ一ノ報告書ヲ採用シ又左ノ建議ヲモ採用セリ其建議ハ千八百七十九年一月一日以來ノ商業取引上

ノ如何ヲ諸銀行ニ豫メ知ラシメン。為メニセシモノナリ然ルニ亦爾来「ポストン」府ノ交換所ニ於テモ之レヲ採用スルニ至レリ。

第一條 凡ソ特別預リ金トシテ金貨ヲ受取ルコトヲ拒ムコト尤モ金貨ヲ受取り取扱ハスルハ唯其合法貨幣タルニ止ルコト

第二條 凡ソ交換所ニ於テ金貨引出切手ノ特別為換ヲ廢スルコト

第三條 凡ソ諸銀行ノ間ニ於ル諸拂ノ差額ハ金貨若クハ合衆國合法紙幣ヲ以テ授受スルコト

第四條 凡ソ預リ金トシテ銀貨ヲ受取ルキハ拂戻シノ節モ同貨ヲ以テ拂戻スベキ特別ノ條約ヲ結フモノニ限ルコト

第五條 凡ソ交換所ニ於テ差額ヲ仕拂フニ銀<sup>ニ</sup>証書若クハ銀貨ヲ以テスルヲ嚴禁スルコト尤モ一口拾「ドル」以下ノ小

額ニ限リ補助貨幣ヲ拂フハ此限ニアラストス

第六條 來一月一日ヲ以テ凡ソ從來ノ金貨特別勅定ヲ閉止スルニ付先ツ以テ取引先ハ其旨ヲ報知シテ以テ金貨特別勅定ノコトヲ廢止スルコト

左ニ陳スル所ハ前ニ述フル報告書ノ拔萃ナリ

今ヤ銀行紙幣ノ效力<sup>銀行紙幣</sup>又政府<sup>政府</sup>効力如何ニ付テ世人正當ノ意見ヲ懷クモノ區々一ナラス其如何ハ實ニ我國ノ利害ヲ進退<sup>利害</sup>シ隨テ我衆庶ノ要求ニ應<sup>應</sup>スルモノトス

夫レ世人カ喋々スル所ノ現況ニ適ヤサル討議論辨ヲ黜ケンカ為メ先ツ暫ラク我徒ヲシテ今ノ如ク其位置ヲ保タシメ正金拂再行ノ後ニ至ルマデ依然此位置ニアラシメテ以テ凡ソ此等百般ノ問議ヲ他日經驗ノ實蹟顯ハルマデ先ツ暫ラク不問ニ置カシムベシ

凡ソ諸銀行トモ其金貨預リト紙幣預リトノ日々ノ取引上ニ於テ著シキ差額ヲ今日ニ呈スルニ至レリ是レ他ナシ畢竟金貨ヲ以テ預リ金拂戻ノ特別準備金トナスニ職由スルモノナリ

然ルニ若シ正金拂ヒ再行ノ後モ猶ホ依然此差額ノ存シテ止マザルアラハ仮令セ令ヲ發シテ以テ銀行紙幣ヲ金貨ト同價ニ交換スベキ旨ヲ公告スルト雖モ其後銀行紙幣ノ金貨ニ下ルノ思想ヲ人々ノ懐クハ永ク止マザルベシ果シテ然ラハ其政府ノ發令モ有名無實ニ歸スルノ歎アラシ

夫レ政府カ其決議ヲ保持セントスルノ企ハ銀行ノ實際拒ム所ナル而已ナラス猶ホ政府果シテ其決議ヲ久シキニ維持スルコトアラハ却テ出納局ヨリ正金ヲ引出ス者ノ為メニ保護便益ヲ與フルカ故ニ銀行ノ心カトモ政府ノ動作ト直チニ反對

スルニ至ルベキナリ

蓋シ正金拂ヒ再行ノ舉ハ日常取引上ニ於テ正金ト紙幣ノ差ヲ全ク見ザルノ日ヲ待ツニアラザレハ充分ニ實行セラレサルベシトス

抑モ正金拂ヒ再行ノ舉ヲ實施實行セントナラハ宜シク諸銀行トモ懇篤ニ連合協力シテ以テ往日戰爭以前ニ於ケルカ如ク合法紙幣ト金貨トヲ實際上全價ニ取扱フテ以テ是レ迄ノ如ク特別約定ヲ締結シ金貨ノ預リ金ヲ受取ルコトヲ拒ミ唯僅ニ合法紙幣トシテ金貨ヲ受取ルニ止マラシメザルベカラズ

亦諸銀行トモ凡ソ現行ノ約定ニシテ金貨ヲ擇ムベキノ約アルモノ、如キハ來一月一日即チ正金拂通行ノ當日ヲ以テ一切解約スベキ旨ヲ通知シテ以テ其約定ヲ廢止セザルベカラズ而シテ爾後ハ交換所ニ於テ凡ソ金貨特別為換ヲ取組ムコト

ヲ止メザルベカラス

若シ亦政府ハ此趣意ニ付尚ホ法令等ヲ發行スルヲ見合セ出納局ヨリ金貨証書ヲ發行スルヲ止メ政府諸仕拂上ニ於テ實際金貨ヲ以テ合法紙幣ト全價ノモノトナスアラハ是レ迄金貨ト紙幣トノ間ニ久シク差ヲ生セシモノ忽チ消失シ天理自然ノ法ナルモノ更ニ其慈善ナル權ヲ我財政ニ及ボスベキナリ

夫レ正金本位再行ノ舉ヲ全フスルニ於テハ銀行紙幣ヲシテ其全体ノ効力ヲ得セシメ又貿易上并ニ人民利害上ヨリ紙幣ヲ需求スルニ付自然一定ノ位置ヲ占ムルニ至ラシムルハ必然ナリ夫レ然リ然リト雖モ正金本位再行ノ舉ハ銀行ニ於テモ政府ニ於テモ毫モ恐怖スル所ナク金貨ヲ使用シ加之銀行ト政府トハ共ニ協力連結シテ再行ノ舉ニ從事シ其舉ハ必ラ

ス實際ニ施行シ久シキニ保持スベキヲ普ク公衆ニ示サンカ  
為メニ毫モ秘スルヲ等ナク確信スベキ處置ヲ行フニアラザ  
レハ其再行ノ目的ヲ能ク達スル能ハス蓋シ他ニ據ルベキノ  
策ナカルベシ

千八百七十八年十月一日ヲ以テ終ル一周年間新約克府ノ交換  
所ニ於テ取扱ヒシ為換手形ノ金額ハ殆ント二百億ドルヲル  
ニシテ正金ヲ以テ拂渡セシ差額ハ大約九千五百萬ナリサレハ  
日々ノ取扱高ハ平均六千五百萬内外ナリ又日々正金ヲ以テ拂  
渡セシ差額ハ平均僅ニ三百万十分ノ一内外ニシテ即チ日々ノ  
取扱高ニ比スレハ唯四分十分ノ八ニ過キズ

新約克府ノ交換所ハ實ニ千八百五十三年ノ創立ニ係レリ然ル  
ニ左ノ表ハ是レ迄二十五ヶ年間ニアリテ毎年ノ取引ノ多寡ト  
日々ノ差額仕拂ノ用ニ供セシ通貨ノ金額ト割合ヲ示スモノト





年数	銀行 負数	資本	為換	通貨ヲ以テ拂渡 シ差額	毎日ノ為 換高平均	毎日通貨ヲ以 テ拂渡セシ 差額ノ平均	割合
千八百五十四年	50	弗 47,044,900	弗 5,750,455,087	弗 297,411,494	弗 19,104,505	弗 988,078	5.2
千八百五十五年	48	48,884,180	5,362,912,098	289,694,137	17,413,052	940,565	5.4
千八百五十六年	50	52,883,700	6,906,213,328	334,714,489	22,278,108	1,079,724	4.8
千八百五十七年	50	62,420,200	8,333,226,718	365,313,902	26,968,841	1,182,246	4.4
千八百五十八年	46	67,146,018	4,756,664,386	314,238,911	15,393,736	1,016,954	6.6
千八百五十九年	47	67,921,714	6,448,005,956	363,984,683	20,867,333	1,177,944	5.6
千八百六十年	50	69,907,435	7,231,143,054	380,693,438	23,401,757	1,232,018	5.3
千八百六十一年	59	68,900,605	5,915,722,758	353,383,944	19,269,520	1,154,088	5.0
千八百六十二年	50	68,375,820	6,871,443,591	415,530,331	22,237,682	1,344,756	6.0
千八百六十三年	50	68,972,508	14,867,597,849	677,626,483	48,428,650	2,209,252	4.6
千八百六十四年	49	68,586,703	24,097,196,656	885,719,205	77,984,445	2,866,405	3.7
千八百六十五年	55	80,363,013	26,032,384,342	1,035,765,108	84,796,040	3,373,828	4.0
千八百六十六年	58	82,370,200	28,777,146,914	1,066,135,106	98,541,195	3,472,753	3.7
千八百六十七年	58	81,776,200	28,675,159,472	1,144,963,451	92,701,167	3,717,414	4.0
千八百六十八年	57	82,270,200	28,484,288,637	1,125,455,237	92,182,164	3,642,250	4.0



種 類	高	計	種 類	高	計
百ドル	27,104,400	31,227,070	百ドル	27,104,400	31,227,070
五十ドル	20,967,800	26,691,195	五十ドル	20,967,800	26,691,195
二十ドル	68,219,780	63,565,929	二十ドル	68,219,780	63,565,929
拾ドル	102,981,440	65,926,631	拾ドル	102,981,440	65,926,631
五ドル	92,539,275	55,576,740	五ドル	92,539,275	55,576,740
貳ドル	2,582,146	20,332,920	貳ドル	2,582,146	20,332,920
壹ドル	4,284,219	20,368,531	壹ドル	4,284,219	20,368,531
合 計	348,702,183	348,702,183	合 計	348,702,183	348,702,183

本表は、昭和二十五年十月三十一日現在、国立銀行紙幣と合法紙幣の合計額を示す。

国立銀行紙幣并合法紙幣ノ事

但シ各種類ヲ區分ス

左ノ表ハ千八百七十八年十一月一日国立銀行紙幣ト合法紙幣  
未償ノ分在高二付種類ヲ區分シテ計上スルモノニ係ル

種 類	高	合 法 紙 幣	高	合 計
百ドル	27,104,400	31,227,070	31,227,070	58,331,470
五十ドル	20,967,800	26,691,195	26,691,195	47,659,595
二十ドル	68,219,780	63,565,929	63,565,929	131,785,709
拾ドル	102,981,440	65,926,631	65,926,631	168,908,071
五ドル	92,539,275	55,576,740	55,576,740	148,116,015
貳ドル	2,582,146	20,332,920	20,332,920	22,915,066
壹ドル	4,284,219	20,368,531	20,368,531	24,652,750
合 計	348,702,183	348,702,183	348,702,183	697,404,366

五百「ドル」	六五七、五〇〇弗	三〇、五〇一、五〇〇弗	三一、一五九、〇〇〇弗
千「ドル」	三〇四、〇〇〇弗	三三、四九〇、五〇〇弗	三三、七九四、五〇〇弗
未々交換、為差 出サレバ損傷紙幣	一一、五六一弗		一一、五六一弗
合計	三一九、六五二、一一一弗	三四七、六八一、〇一六弗	六六七、三三三、一三七弗
右ノ内ヨリ「千カゴ」府火災ニ罹リ シ合法紙幣ヲ引去レバ		火災ニ罹 リシ分 一、〇〇〇、〇〇〇弗	一〇〇〇、〇〇〇、弗
差引残額	三一九、六五二、一一一弗	三四六、六八一、〇一六弗	六六六、三三三、一三七弗

我改定成文律第五千七百七十五章ニ云ク凡ソ何レノ銀行ヘ下付  
セシ銀行紙幣タリトモ五「ドル」以下ノ紙幣ハ其内六分ノ一  
以上ニ超越スベカラスト而シテ正金拂ノ擧再行ニ至ル後ハ何  
レノ銀行ヘタリトモ五「ドル」以下ノ紙幣ヲ下付セザルモノ  
ト定ムト

此ノ條款ノアルニ依テ去ル十一月一日ヲ以テ壹「ドル」貳「ド  
ル」ナル二種ノ紙幣ヲ印刷スルヲ停止セリサレバ本年終

ルノ後モ此等兩種ノ紙幣ハ再發セラル、ベキコトハヨモアラ  
サルベシ

改定成文律第五千八百八十二章ニハ凡ソ諸国立銀行ノ發行紙幣  
ハ凡テ其銀行ノ頭取並ニハ副頭取ノ内一名ト出納役ノ記名ヲ  
要スル旨ヲ載セリサレハ當寮ト發行銀行トノ間ニ於ケル引出  
切手ノ如ク少ナクトモ銀行役負ノ内一名ノ自筆記名ヲ要用ナ  
リトス其然ル所以ノモノハ他ナシ若シ紙幣過度發行ノ疑ヲ世  
上ニ醸生スルヲアル片ニハ其役負ノ記名ヲ以テ其紙幣ノ真否  
ヲ判定証明スルニ足ルアレハナリ

然ルニ諸銀行ノ内ニハ往々印刷ノ記名ヲ以テ其紙幣ヲ發行ス  
ルモノ少カラス亦時宜ニ依リテハ間々石版刷ノ記名ヲ以テス  
ルモアリ夫レ斯ノ如クナル片ニハ紙幣ノ真否如何ニ付テ屢々  
世ノ疑惑ヲ生スルモノナレハ最モ謹ムベキノトス依テ本案

歳ノ年報ヲ呈スルニ當リ改定成文律第五千八百八十二章ヲ改定  
シ凡ソ各銀行ニ於テ少ナクトモ其銀行役負ノ内一名自筆記名  
ヲモナサスシテ發行セシ紙幣ハ一「ドル」毎ニ貳拾「ドル」  
ツ、ノ罰金ヲ課スベキ旨ヲ詮議シ置キタルナリ今復々其議ヲ  
茲ニ再申スルコトス、如シ

千八百七十八年 本國紙幣頭年報上編終

